令和6年度第2回人間文化研究機構経営協議会 議事概要

- 日 時： 令和6年6月13日（木） 14：00～16：05
- 場 所： 大手町プレイスホール&カンファレンス Conference 103
- 出席者： 井上（賢）、井上（章）、大原、木部、栗本、小松、佐村、サーラ、田島、永田、西谷、
広渡、藤岡、前川、宮崎、望月、山極、吉田、若尾、渡部の各委員
- 陪席者： 小泉監事、井上監事
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、
本部事務局の総務課長、研究企画課長、財務課長、施設課長、その他関係職員

○ 概 要：

議事に先立ち、機構長から新たに就任した委員等の紹介があった。また、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認等があった。

議 題：

（議事概要）

- （1） 令和5年度第3回議事概要について（資料1-1）
機構長から、令和5年度第3回経営協議会の議事概要について報告があった。
- （2） 令和6年度第1回（書面審議）審議結果について（資料1-2）
機構長から、令和6年度第1回経営協議会の書面審議の審議結果について報告があった。

（審議事項）

- （1） 令和5事業年度決算について（資料2）
宮崎理事から、資料2に基づき、令和5事業年度決算について説明があり、審議の結果、了承された。
- （2） 令和7年度概算要求について（資料3）
宮崎理事及び組織要求している機関の長等から、資料3に基づき、令和7年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。
また、本件に関し、以下の意見があった。
 - ・ 概算要求の個別の予算額が載っていないため、事業規模を教えてください。
 - ・ 国語研の人員募集について、2名募集のうち27名が応募とあるが、どのような条件で募集しているのか。⇒ 募集要項では比較的若手を中心としつつ、業績によっては教授からテニユアトラックの准教授まで、柔軟に採用することとしている。
- （3） 人間文化研究機構組織規程の改正について（資料4）
宮崎理事から、資料4に基づき、人間文化研究機構組織規程の改正について、説明があり、審議の結果、了承された。

（報告事項）

- （1） 第4期中期計画に係る自己点検・評価の実施スケジュールについて（資料5）
栗本理事から、資料5に基づき、第4期中期計画に係る自己点検・評価の実施スケジュールについて報告があった。
- （2） 人文学・社会科学のDX化に向けた研究開発推進事業（データ基盤の開発に向けたデジタル・ヒューマニティーズ・コンソーシアムの運営）への申請について（資料6）
堀理事から、資料6に基づき、人文学・社会科学のDX化に向けた研究開発推進事業（データ基盤の開発に向けたデジタル・ヒューマニティーズ・コンソーシアムの運営）への申請について報告があった。
また、本件に関し、以下の意見があった。
 - ・ 申請が採択されたのはとても喜ばしいことと思う。これは基幹経費化されるのか。⇒ 基幹経費化される予定はないが、まずはコンソーシアムの運営の成果をあげ、その成果

によって要求を続けていきたい。コンソーシアムの運営について、今回採択されたものと別に発足する予定の「DH 組織ネットワーク協議会」と有機的に連携するなど、コンソーシアムが長続きするような体制作りを協議していきたい。

(3) 人間文化研究創発センターの活動状況について（資料7）

栗本理事から、資料7に基づき、人間文化研究創発センターの活動状況について報告があった。

(4) 令和5年度監事監査報告について（資料8）

小泉監事、井上監事から、資料8に基づき、令和5年度監事監査について報告があった。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 監査報告の決算、会計、コンプライアンスについての報告以外のガバナンスの面のコメントは、改善に当たって法的拘束力や、改善しなかった場合のペナルティは発生するのか。
- ⇒ 監事からのガバナンス等経営に対するコメントについて、法的拘束力やペナルティは持たないものであるが、機構としては改善を検討していく必要がある事項だと認識している。
- ・ 民間の監査では、会計、コンプライアンスの監査結果を監査報告書としてまとめ、その他の内容については、マネジメントレターを作成している。機構でもそのように切り分けたら混乱が少ないのでないか。
- ・ 監査報告書の改善案について、誰が妥当性や実施を決定するのか。機構長か。そもそもこの改善に対する妥当性の議論をこの経営協議会でする必要があるのではないか。
- ・ 大学における監査は民間の監査より広い役割を担っている。監査計画の段階で、何をってもらうかすりあわせていくべき。
- ・ 内部監査、外部監査、経営協議会、監査室、外部評価委員会とで、役割の棲み分けが必要だ。

⇒ 監査の方法や考え方については、いただいた意見等を参考に監事とも慎重に検討したい。

(5) 令和6年度監事監査計画について（資料9）

小泉監事、井上監事から、資料9に基づき、令和6年度監事監査計画について報告があった。

(6) 令和6事業年度における会計監査人の選任について（資料10）

宮崎理事から、資料10に基づき、令和6事業年度における会計監査人の選任について報告があった。

以上